



# かがやき

る  
える  
くる  
が  
ば  
し  
え  
ん  
さ  
た  
か  
が  
や  
き

時津町立鳴鼓小学校  
学校だより 第4号

令和4年6月20日  
文責：校長 今井大輔

## 体験活動盛りだくさん

六月に入り、子供たちの体験活動が充実しています。四年生が、五月に袋かけをしたびわの収穫作業を一日に行い、そこを皮切りに十四日（火）二年生の芋差し、十七日（金）四年生の田植えと続きました。以前も学校だよりで述べましたが、実体験をすることは、本やメディアなどでは得られないことが多くあります。「百聞は一見にしかず」：「百考は一行にしかず」です。実際に見たことや実行したことは、心に残り体に残るものです。コロナ禍で様々な制限はありますが、工夫しながら学びを進めていきたいと思っています。

## 笑顔と感謝

収穫に行く前にchromebookを使って、びわについて調べました。産毛があるびわが甘いという情報を見付けました。袋から出して確かめました。予想したびわの大きさは、卵ぐらいでした。みんなの予想通り、良い大きさのびわをたくさん収穫することができました。

四年生の作文です。学びの深さと地域の方への感謝の気持ち伝わってきます。収穫するときは、どの子も笑顔いっぱいでした。

## 芋差しの手ほどき



三百本の苗を二年生六十二人、一人あたり五本ずつ芋差しをしました。左底シニア会の荒木さんと坂本さんのていねいな説明を受けてスタートしました。全員で八名のシニア会の方に直接手ほどきを受けながら全ての苗を差し終えた子供たちは誰もが芋差し名人です。取材にきていたNBCラジオへの「エイエイいも〜！」の掛け声の出演も立派でした。最後はお世話になった地域の方へ心を込めたお礼と甘い芋に育ってほしい感想を述べました。秋に丸々と大きくなつた芋を収穫できるのが楽しみです。

## 田んぼの感触は…

「うわ！ぬるぬるする。」「土の下の方って冷たいよね。」「植えるの難しかあ。ななめになる。」「そんな声があちらこちらから聞こえてきました。ほとんどの子供にとつて田植え初体験です。今回も地域の方が、十八人もご協力いただき貴重な体験をさせていただきました。「小学生の時に田植えをしたことを覚えておいてほしいんです。」と話がありましたが、そこには、地域の方の思いが込められており、きっと子供たちも大人になってこの体験を思い出すことでしょう。この植えた苗が大きく育って、秋に収穫する時は五年生の出番となります。

今回もNBCラジオの取材があり、四年生の数名がはきはきとインタビューに応え、見事番組出演を果たしました。これができるのも日頃の学習の成果です。

田植えは貴重な体験です



## びわやき

びわの袋かけや収穫の時には草刈りや収穫の準備。芋差しの時には、雑草取りから始め、畑を耕して畝たて。田植えの時には、田おこしに代掻き、田の周りの草はらい。子供たちが体験活動を行う際に、事前に地域の方がしてくださっていることである。これらを学校だけでやるとなると、当然、教師と子供たちだけですべてやらなくては行かない。更に日常の水や肥料やり、雑草とりなど世話をすることを考えるものすごい労力である。今、鳴鼓小でできている農業体験は大変貴重なことで、ありがたいことである。これらは、大人になった時の鳴鼓小での良い思い出となっていることだろう。そして、また次の世代に…。地域の繋がりが大切にされていることに感謝である。

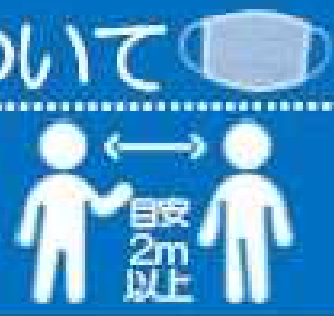
## マスクの着用について

先日、学校メールでマスク着用の件をお知らせしました。現在、運動場での遊びや体育科の学習時は、マスクを外して活動しております。しかし、近距離で会話をする場合は着用するように指導しておりますので、友達と一緒に遊ぶ時や集団登校の時にマスクを着用している子は多くいます。現在、未だに感染者数が大幅に減らない状況ですので、時津町内小中学校では、これまでの感染対策を基本として進めています。校舎内においては、2Mの距離を確保しながらの学習は物理的に不可能です。エアコンを使用してもマスク着用で授業を行います。基本は、裏面にある文科省の通知に準じて行っていきます。

マスクについては、身体的な理由や様々な理由で着用を希望する方、希望を望まない方、双方の意見があります。下記の文部科学省の内容を基本的な対応としますが、状況に応じて個別に対応します。周りの方へ、着脱を強制することや差別やいじめ等につながる行為がないよう、お子様とご確認ください。

# 新型コロナウイルス感染症対策 子どものマスク着用について

人との距離（2m以上を目安）が確保できる場合  
においては、マスクを着用する必要はありません。  
また、就学前のお子さんについては、  
マスク着用を一律には求めていません。



## 就学児について (小学校から高校段階)



### マスク着用の必要がない場面

#### 屋外

- ・ 人との距離が確保できる場合
- ・ 人との距離が確保できなくても、  
会話をほとんど行わないような場合  
＜例＞ 軽装で行う運動や移動  
鬼ごっこなど密にならない外遊び  
＜例＞ 屋外で行う教育活動（自然観察・夏生活動等）

#### 屋内

- ・ 人との距離が確保でき、  
会話をほとんど行わないような場合  
＜例＞ 個人で行う読書や調べたり考えたりする学習

### 学校生活

屋外の運動場に限らず、プールや屋内の体育館等を含め、体育の授業や運動部活動、登下校の際  
※運動部活動において個別各々の活動を行う場合には、各競技団体の作成するガイドライン等を理解しましょう  
学校中以外の練習場所や試合会場、行事や集団での移動を行う場合は、状況に応じて、マスク着用を適切に感染対策を講  
※そのほか地域の状況に応じて、実施されている対策がある場合、それらに応じた対応をお願いします。

**高齢の方と会う時や病院に行く時は、マスクを着用しましょう。**

## 保育所・認定こども園・幼稚園等の 就学前児について



### 2歳未満

マスクの着用は推奨しません。

### 2歳以上の就学前の子ども

他者との距離にかかわらず、マスク着用を一律には求めて  
いません。マスクを着用する場合は、保護者や周りの  
大人が子どもの体調に十分注意した上で着用しましょう。

気を付けるポイント

- ▶ 夏場は、熱中症防止の観点から、マスクが必要ない場面では、マスクを外すことを推奨します。
- ▶ マスクを着用しない場合であっても引き続き、手洗い、「密」の回避等の基本的な感染対策を継続しましょう。  
※そのほか地域の状況に応じて、実施されている対策がある場合、それらに応じた対応をお願いします。



新型コロナウイルス感染症対策の観点から  
(厚生労働省)



厚生労働省  
Ministry of Health, Labour and Welfare



文部科学省  
Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology

新型コロナウイルスに感染した  
患者の回復に関する対応について  
（文科省・厚労省の共同発表）  
(文部科学省)

